

# 北九州医療・介護連携プロジェクト会議 第12回合意事項等

日時	令和6年3月18日(月)19:00~20:30		
場所	北九州市役所庁舎 3階 特別会議室 A		
参加者	北九州市医師会	安藤 文彦	○
	北九州市歯科医師会	石田 力大	○
	小倉医師会訪問看護ステーション	泉 千秋	○
	福岡県介護老人保健施設協会北九州ブロック	大村 智士	○
	ケアマネット21	白木 裕子	○
	小倉在宅医療・介護連携支援センター	白土 健司	欠席
	北九州高齢者福祉事業協会	曾我 満美	欠席
	福岡県作業療法協会	玉野 和男	欠席
	福岡県介護支援専門員協会	坪根 雅子	○
	北九州市薬剤師会	平川 剛	○
	福岡県医療ソーシャルワーカー協会	森川 尚子	○
	福岡県理学療法士会	山内 康太	○
	福岡県看護協会	湯元 照子	欠席
議題1	<p>【「とびうめ@きたきゅう」について】</p> <p>○「とびうめ@きたきゅう」の市外参加医療機関での閲覧開始については、議題どおり進めていく。なお、既登録者に市外展開のお知らせハガキを発送する際は、事前に居宅介護支援事業所にも一報を入れる。</p> <p>○「とびうめ@きたきゅう」は、マイナンバーカードのオンライン資格確認による医療情報の連携と類似した取組ではあるが、緊急連絡先や閲覧時の本人同意における部分では優位性がある。中期的には、どちらか一方ということではなく、うまく組み合わせながら、より効果的・効率的に活用できるような形を考えていく必要がある。</p>		
議題2	<p>【「医療・介護連携ルール」等活用状況の調査結果について】</p> <p>○病院としては、3日以内にケアマネジャーと連絡を取りたいところだが、まだヒット率が低いところが課題としてある。要支援・要介護認定等申請時における「とびうめ@きたきゅう」への登録案内などにより、登録者数が増え、ヒット率の向上にも繋がるものと思われるので、引き続き取組を進めていく。</p> <p>○「医療・介護連携ルール」のより一層の定着化に向けては、これまでとは違った取組が必要と思われる。市外展開に向けた医療機関へのアプローチの機会も活用しながら進めていく。</p>		
議題3	<p>【「病院窓口ガイド」の改訂等について】</p> <p>○経費面からも、冊子の配布先はこれまでどおりで良いが、配布先以外の介護保険施設にも市ホームページの掲載場所等の周知を積極的に実施する。</p>		
その他	<p>○所属団体においても「とびうめ@きたきゅう」をはじめとしたプロジェクトの情報発信や周知を一層進める。</p>		